

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495300087	事業の開始年月日	平成21年5月1日
		指定年月日	平成21年5月1日
法人名	株式会社 日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 たかつ		
所在地	(213-0031) 神奈川県川崎市高津区宇奈根635-2		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成23年1月15日	評価結果 市町村受理日	平成23年6月13日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その方の持っている力、能力を引き出し安心・安全に生活が送れるよう、職員には研修等により日々のケアに生かせるようにすること、家族よりの意向を理解し考慮すること、地域とのかかわりや交流により楽しみを見い出すことで支えあい個人の支援に努めている。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年2月23日	評価機関 評価決定日	平成23年6月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所概要】 事業所は、JR南部線久地駅から徒歩10分ほどのメディカルヴィレッジの一角に立地している。メディカルヴィレッジは医療と福祉の融合型の開発地で、医療関係は戸建て型医院と薬局、福祉関係は1階に同一法人のデイサービス事業所、2・3階に本事業所が使用しているビルのほか、隣接して高齢者専用賃貸住宅がある。事業所はキッチンやトイレをコアにして廊下が回廊式となっている。共用スペースは各階にゲストルームがあるなど、全体にゆとりがある。法人は神奈川県を主に「花物語」の名称をつけ、グループホームや有料老人ホームなどを展開している。 【医療機関との密接な連携】 同じ敷地内の医院が協力医療機関であり、隣接した薬局に利用者の薬の管理のお手伝いをしてもらうなど、事業所と敷地内の医療機関との連携が密接で、安心して暮らすことができるような環境にある。 【地域との繋がり】 町内会や地元の神社の納涼大会や例大祭等に全員が参加し、地域の方と一緒に食事をして交流をしているほか、町内会が実施しているパトロール区域を広げて、事業所を対象区域内に含めてくれたりして、地域との繋がりは良好である。 【事業所の雰囲気】 開設2年目であるが、法人のノウハウと職員の努力に加えて、利用者も自発的にお手伝いをしており、職員、利用者間でアットホームな雰囲気が生まれている。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語たかつ
ユニット名	2階

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした事業所作りを心がけ、住みなれた地域で生活する事により、入居者様が安心して生活できるように努めている。	事業所開設時に職員が作った理念である「人生の大先輩 お互いを支えあって その人らしさを受け止める 気づきのある生活」を掲示し、管理者は折にふれ職員に真意を話し浸透を図っている。特に「その人らしさ、気づきのある生活」を重視している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、なるべく地域に溶けこんでいこうという意識を持ち、近隣の納涼会や祭りの行事などにも積極的に参加している。	宇奈根町内会に加入し、地域の情報は回覧板や運営推進会議で地元のメンバーから得ている。町内会や地元の神社の行事（納涼大会・例大祭等）に参加している。敬老会との交流もある。神輿が立ち寄ったり、町内パトロール区域に事業所を含めてくれるなどの協力が得られている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の人でもできる事などを理解していただき、町内会の出初式の参加案内などに対して参加している。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様の日頃の生活や過ごし方などを理解していただき、少しでも地域に根づいたサービスが行えるように努めている。	運営推進会議は今年度既に3回開催し、次回は2月に予定している。構成員は町内会長、民生委員、家族、利用者、地域包括支援センター・事業所の職員である。議題は現況報告、今後の予定の確認、意見交換が主である。町内会長からは防災関係の意見をもらっている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高津区の地域包括や高齢者支援課へ定期的に訪問し、相談・情報交換している。	区役所の担当課は高津区高齢者支援課で、事業所の手続きや入退所などの状況報告をしている。日常の接触は樹の丘地域包括支援センターが多く、運営推進会議に参加してもらい、議事録を届けている。市主催の介護技術・認知症関連の研修に参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアについて常に意識し、適切なケアに努められるようにしている。定期的に会議でも話し合っている。</p>	<p>契約書などに身体的拘束等を行わない事が明記され、その旨の研修を行い忠実に実践している。1階の玄関はインターホンにより職員が開閉しており、各階にはエレベーターで昇降し、ユニット毎に戸があり施錠はしていない。2階の事務室で受付をしている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待について学ぶ場を設けたり、情報を得る事で職員も虐待を見過ごさないように意識を高く持つように心掛けている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員関係者との話し合いを持つように努めている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に関しては、特に話し合いを多く持ち、お互いに納得の上で入居いただいている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議にて、本人・家族の参加により、意見や要望の発信できる機会を設け、内容をその後運営に反映できるよう努めている。</p>	<p>毎月家族には、事業所からのお知らせと利用者の様子を記載した「お手紙」を作り、請求書と一緒に郵送している。家族の来所は多く、その際に家族と話すようにしている。運営推進会議や行事の際に家族の要望を受け、ドライブを実施したこともある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会や社員会を通じて意見や提案を検討し、より良い内容は運営に反映できるよう努めている。	法人の責任者や施設長・管理者との会議や内部の会議で、職員の意見を聞く機会を設け、改めている。具体的には、食材の調達方法(献立とレシピ付き食材の業者納入)や薬局が利用者ごとに薬を処方ケースに入れ、事業所に届けてもらうなどである。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務条件など考慮し雇入れを交わしている。資格手当や土日祝日手当の支給、資格取得支援の奨学金制度もあり整備できている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市町村等からの研修等に参加する事により、同業者との情報交換やネットワークを構築するよう努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時にはアセスメントをしっかりと、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話していただけるような関係性を持つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人ご家族が困っている事や不安な材料をとりのぞき、安心してご利用いただけるように密に連絡をとり合うように努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症の度合いや、おかれている環境を把握し、GHが適切かどうかを考慮して対応している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意志を第一に尊重し、おしつけの介護ではなく、協力し合いながら生活できるように努めている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に家族の意見も反映できるようにし、又、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心がけている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なるべく面会を多く持っていただき、通いなれた馴染みの美容院へ行くなど、今までの関係性を保てるように支援している。	利用者の馴染みの場所や知人との関係継続に向けて、個別の要望に応えている。例えば、行きなれた美容院に通うことを支援したり、デパートで知人に会うことをセットするなどのほか、孫にヘアカットに来てもらうなどである。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生日会、季節の行事等で入居者様同士の親睦を図っている。なるべく声かけを多くし、少しでも良い関係性が保たれているように努力している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了の際は、必要とする情報や支援を本人・家族に提供するようにし、良い関係性を継続できるように努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話や行動の中から、本人の思いや意向を汲みとれるよう、努力すると共に個人の自立性を大切にしている。	事業所独自の書式に利用者や家族から入居時に聞いた情報が整理され、入居後は新たな情報を追記している。職員会議では新たな意向・情報(生活パターン・生活歴等)が報告され共有している。利用者1名ごとに職員1名が担当となる居室担当制をとっている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用に至る経緯や生活環境など、職員間で情報共有し入居してからも、今までの生活習慣が可能な限り継続できるように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員一人ひとりが、利用者の現状をしっかりと把握し、個別ケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為にも、ご本人との会話を大切にし、家族や関係者・職員からの情報を多く得て、作成にあたっている。</p>	<p>介護計画は家族等の意向、担当職員のケア・モニタリング記録、計画の達成度、主治医の助言をもとに計画作成担当者が原案を作り、カンファレンスで確定している。計画作成に当っては、出来ることを具体的かつ平易に表現するよう心がけている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の細かな情報や気づきを残す事が職員間の共通理解、共通ケアとなり、介護計画に反映させている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>常に現状必要なサービスは何であるかを考え、次につなげるサービスがあればつなげていくように取りくんでいる。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>お祭りや消防訓練の町内会行事を把握し、参加することにより心身の力を発揮し安全で豊かな暮らしを楽しんで頂くよう支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回の定期往診を受けている。心身状態について家族や主治医と常に連携を取り、本人が適切な医療を受けるよう支援している。</p>	<p>全員が同一敷地内にある医院の医師を主治医としている。主治医の往診は月2回ある。主治医以外の科目（眼科、整形外科など）の医者には、3名が受診している。歯科医は訪問診療である。隣接の薬局が利用者別に薬を処方ケースに入れて届けてくれる。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回看護職員による健康チェックを行い、主治医との連携も行い本人が適切な処置・看護を受けるよう支援している。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中のお見舞いや家族との連絡を取る事により、本人の状態を把握するよう努めている。医師の説明等に同席し医療従事者とも関係し支援している。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	指針について入居時に説明し同意を交わしている。家族の意向や主治医の方針など十分に話し合い支援している。	事業所には「利用者の状態が重度化した場合の対応に関する指針」があり、入居時に説明し同意をもらっている。入居後は体調の変化に合わせて、主治医・家族・管理者が話し合う体制がある。職員への研修も実施している。看取り実績は現在のところ無い。	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	日々の申し送りや、会議などで話し合いや、実践・訓練を行う事により職員全員が対応できるように努めている。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	職員全員が常に災害を意識し訓練の場を設けている。夜間時火災想定・日中災害想定で消防署指導で訓練を実施。避難時備蓄品も備えている。	消防総合訓練は消防署に届出をして実施している。課題としては車椅子の方の誘導や夜間に職員が一人の場合の対策のほか、近所の方にすぐに助けを求める仕組み作りが浮かび上がっている。スプリンクラーは設置済みで、非常用食料品等は2週間分確保されている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を常に意識し、言葉使いに配慮している。	事業所の名称である「花物語の花」の言葉に、「利用者が主人公となって素敵な花を咲かせて物語を作っていただきたく、そのお手伝いをする」旨の思いがある。職員はこれを基に利用者に敬意をもって接し、明るく節度のある会話をしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押しつけの介護にならず、ご本人の生活の決定権は、ご本人にあると意識している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限りご本人の意向を優先している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意志を尊重しながら、季節やTPOに合った身だしなみができる様支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの好みやできる力を把握し、職員まかせでなく協力して作業を行うよう心掛けている。	献立、食材、レシピは業者に委託し、ご飯の炊飯と調理は職員と利用者が共同で行っている。利用者は配膳、片づけなどを自発的に行っている。職員は同席して食事をすることもある。流しそうめんやホットプレートを利用し、焼きソバなどを作ることもある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>状態に応じ支援や声かけを行っている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>個別に応じたケアを実践している。毎食後、職員による声掛けや介助により、利用者の口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ご本人を理解する事により排泄パターンを把握し、自立に向けた個別ケアに努めている。</p>	<p>介助状況は全介助が1人、一部介助が4人、自立が13人で、その内3人は見守りが必要である。排泄表を参考に、表情等から判断してさりげなく声をかけトイレに誘導し、自立排泄に向け支援している。ポータブルトイレを使用していた方が普通のトイレを使えるようになったこともある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残す事で、便秘の早期発見と予防に努めている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>可能な限り、ご本人の意志を尊重しお体のご状態も考慮し、入浴の支援を行っている。</p>	<p>1週間の平均的な入浴回数は2～3回である。入浴時間帯は午前が11時から12時まで、午後は14時30分から16時30分の間で、30～40分をかけて入浴している。足浴や、夏場に大汗をかいた時なども柔軟に対応している。利用者の要望に応じて同性介助をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>夜間安眠して頂けるよう、日中のお過ごしにも考慮し支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬は特に配慮をし、症状の変化確認なども協力医療機関医師との連携に努めている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>誰かの役に立つ事の大切さや家事や行事に参加する事の喜びを感じていただく。おやつにも季節感や昔懐かしい物を提供する。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>可能な限り外出を支援している。ご本人の体調や、天候により、散歩等に出られるように努めている。</p>	<p>散歩は無理強いをせず、行かない人もいるが、行く場合は職員が付き添い15分程度のコースを週に2~3回行っている。屋上で多摩川の花火の見学やバーベキューを行うほか、公民会で近所の敬老会の方と交流するなど、各種の外出の機会を支援している。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は事業所で行っているが、近くのスーパーや商店での買い物を楽しめるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所設置の電話の利用や手紙のやり取りなど、家庭的な雰囲気が味わえるよう、可能な限りで対応していく。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地良い居住空間を目指し快適に過ごしていただくように努めている。	北側に居間があるが、日当たりが良く明るい。玄関や廊下、居間・食堂の共用スペースは広い。利用者の作品や写真等が壁に控えめに貼付されている。季節の展示物も置かれている。居室の入り口左側に花名と利用者名が表示された木製のプレートが貼付されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご本人の意志を尊重し自由に過ごしていただいている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具を置く事により、安心して生活できるように支援している。	居室の備え付けは、エアコン、洗面台、照明器具、クローゼットである。利用者は居室にカーテン、ベット、テレビ、チェスト、家族の写真、仏壇などを持ち込み、一人でゆっくりとくつろげるように工夫している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個別性を重視した環境を目指し、自立した生活が送れる様に支援している。		

事業所名	花物語たかつ
ユニット名	3階

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした事業所作りを心がけ、住みなれた地域で生活する事により、入居様が安心して生活できるように努めている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、なるべく地域に溶けこんでいこうという意識を持ち、近隣の納涼会や祭りの行事などにも積極的に参加している。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の人でもできる事などを理解していただき、町内会の出初式の参加案内などに対して参加している。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居様の日頃の生活や過ごし方などを理解していただき、少しでも地域に根づいたサービスが行かせるように努めている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高津区の地域包括や高齢者支援課へ定期的に訪問し、相談・情報交換している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	常に身体拘束を意識し、適切なケアに努められるようにしている。定期的に会議でも話し合っている。		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	虐待について学ぶ場を設けたり、情報を得る事で職員も虐待を見過ごさないように意識を高く持っている。		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	職員関係者との話し合いを持つように努めている。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約に関しては、特に話し合いを多く持ち、お互いに納得の上で入居いただいている。		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	運営推進会議にて、本人・家族の参加により、意見や要望の発信できる機会を設け、内容をその後運営に反映できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会や社員会を通じて意見や提案を検討し、より良い内容は運営に反映できるよう努めている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務条件など考慮し雇入れを交わしている。資格手当や土日祝日手当の支給、資格取得支援の奨学金制度もあり整備できている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修の定期的な実施や外部研修の参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市町村等からの研修等に参加する事により、同業者との情報交換やネットワークを構築するよう努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始時にはアセスメントをしっかりと、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話していただけるような関係性を持つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人ご家族が困っている事や不安な材料をとりのぞき、安心してご利用いただけるように密に連絡をとり合うように努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症の度合いや、おかれている環境を把握し、GHが適切かどうかを考慮して対応している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の意志を第一に尊重し、おしつけの介護ではなく、協力し合いながら生活できるように努めている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	常に家族の意見も反映できるようにし、又、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心がけている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	なるべく面会を多く持つていただき、通いなれた馴染みの美容院へ行くなど、今までの関係性を保てるように支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誕生日会、季節の行事等で入居者様同士の親睦を図っている。なるべく声かけを多くし、少しでも良い関係性が保たれているように努力している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了の際は、必要とする情報や支援を本人・家族に提供するようにし、良い関係性を継続できるように努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話や行動の中から、本人の思いや意向を汲みとれるよう、努力すると共に個人の自立性を大切にしている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用に至る経緯や生活環境など、職員間で情報共有し入居してからも、今までの生活習慣が可能な限り継続できるよう努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員が一人ひとり、しっかり把握し個別ケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の意向に近づいた介護計画にする為にも、ご本人との会話を大切にし、家族や関係者・職員からの情報を多く得て、作成にあたっている。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の細かな情報や気づきを残す事が職員間の共通理解、共通ケアとなり、介護計画に反映させている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>常に現状必要なサービスは何であるかを考え、次につなげるサービスがあればつなげていくように取りくんでいる。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>お祭りや消防訓練の町内会行事を把握し、参加することにより心身の力を発揮し安全で豊かな暮らしを楽しんで頂くよう支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>月2回の定期往診を受けている。心身状態について家族や主治医と常に連携を取り、本人が適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回看護職員による健康チェックを行い、主治医との連携も行き本人が適切な処置・看護を受けるよう支援している。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院中のお見舞いや家族との連絡を取る事により、本人の状態を把握するよう努めている。医師の説明等に同席し医療従事者とも関係し支援している。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	指針について入居時に説明し同意を交わしている。家族の意向や主治医の方針など十分に話し合い支援している。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	日々の申し送りや、会議などで話し合いや、実践・訓練を行う事により職員全員が対応できるように努めている。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	職員全員が常に災害を意識し、定期的に訓練の場を設けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であるという事を常に意識し、言葉使いに配慮している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	押しつけの介護にならず、ご本人の生活の決定権は、ご本人にあると意識している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限りご本人の意向を優先している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意志を尊重しながら、季節やTPOに合った身だしなみができる様支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個別の能力を把握し、おまかせでなく、協力して作業を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	状態に応じ支援や声かけを行っている。		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	個別に応じたケアを実践している。毎食後、職員による声掛けや介助により、利用者の口腔ケアを行っている。		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	ご本人を理解する事により排泄パターンを把握し、自立に向けた個別ケアに努めている。		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	一人ひとりの食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残す事で、便秘の早期発見と予防に努めている。		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	可能な限り、ご本人の意志を尊重しお体のご状態も考慮し、入浴の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>夜間安眠して頂けるよう、日中のお過ごしにも考慮し支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬は特に配慮をし、症状の変化確認なども協力医療機関医師との連携に努めている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>誰かの役に立つ事の大切さや家事や行事に参加する事の喜びを感じていただく。おやつにも季節感や昔懐かしい物を提供する。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>可能な限り外出を支援している。ご本人の体調や、天候により、散歩等に出られるように努めている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は事業所で行っているが、近くのスーパーや商店での買い物が楽しめるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所設置の電話の利用や手紙のやり取りなど、家庭的な雰囲気が味わえるよう、可能な限りで対応していく。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地良い居住空間を目指し快適に過ごしていただくように努めている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご本人の意志を尊重し自由に過ごしていただいている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具を置く事により、安心して生活できるように支援している。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個別性を重視した環境を目指し、自立した生活が送れる様に支援している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

花物語たかつ

作成日

平成23年6月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	入居者様が地域住民の一員としての役割を持って生活をして欲しい。	近隣住民との定期的な交流により認知症の方を理解頂く為の活動。	定期的にコースと日程を決め散歩をすることにより地域の防犯を兼ねる。	1年
2	2				
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。